

M-EMSステップ2SSR取得

万協製薬が県内第1号

環境教育や学校と製品開発

【多気郡】多気町五桂池 第一号となる認証制度「M-EMS」の製薬会社、万協製薬（松浦信男社長）は九日、県内



トップ2SSRを取得した。M-EMSは、「みえ・環境マネジメントシステムスタンダード」の愛称で、中小企業を対象に一般社団法人M-EMS認証機構（田中正一代表理事）が認証する環境改善活動の認証規格。要求事項の少ないステッ1と、ISO14001と同等のステッ2があり、さらに拡大し、社会的責任の持続的発展を求めたステッ2SSRがある。

同社は昭和三十五年創業で平成二十年九月にステッ2に登録。阪神大震災被災を機に十八年前に現在地の本社を移転し、これまで熊野古道や佐奈川の清掃活動、地元小学校への環境教育や、相可高校との地域貢献製品の開発などに力を入れてきたという。

田中代表理事（右）から登録証を受け取る松浦社長。多気町の万協製薬で

この日は、同社で登録証の授与式があり、田中代表理事が登録証を松浦社長（五）に授与。

松浦社長は、地域貢献への取り組みとして新たに地域の役員として活動する社員に手当を与える取り組みを始めることを明かし、「あらゆる活動は社会に広がってこそ意味がある。地域や社会とのつながりの重要性を他社にも広げていきたい」と話した。

就職内定率97%

3月末 現在 県立高卒業生

県教委は九日、三月末現在の県立高校卒業生の就職内定状況を発表した。前年同期を1.3ポイント上回る97.9%となった。就職希望者数は四千一人で、三千九百十七人が内定し、就職内定率は八十九・九パーセント。県立特別高等部重

閣議決定前に「政府方針」

集団内閣制

国民投票 きょう 自民、衆院憲法幹事懇談会 続きを確定 法改正案に 法審査会で行い、審議 決めた。白 決する日程 民主党は を確保し、 聴会を行う た。自民党

私

2015 の新たな で、行政と 変わる私 談、支援能

か、うたっていないのが現実だ。少なくとも最高裁は憲法の最終の番人なので、今までの判決は当然参考になる」との認識を示した。